



ほどエコネット通信



～ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク～

まだまだ暑いこの季節。環境省の調査によると、気温が高くなる夏は水の利用量が増加するそうです。そんな季節だからこそ知っておきたい上手な水の使い方について、会員の皆様にお届けします！

夏だからこそ！上手な水の使い方を学ぼう！

節水も省エネ！

水道水を家庭に送るためには、河川からの取水、浄水、送配水の各過程において、ポンプなどを動かすためのエネルギーが必要になります。また、下水処理の過程においてもポンプ場や下水処理場において、多くのエネルギーが使われています。そのため、**節水を心がけることは省エネ行動につながるのです！**

水の上手な使い方

家庭のなかで最も水を使うのはどの場面だと思いますか？ 正解は、全体の消費量の40%を占めている**お風呂**です。次いで**トイレ**（22%）、**炊事**（17%）、**洗濯**（15%）となっています。それぞれの場面において簡単に実践できる節水方法をご紹介します。



○お風呂編

シャワーはこまめに止めましょう。お湯を流す時間を1分間短縮した場合、年間で**29 kgのCO₂が削減**できます（45℃の場合）。加えて、**ガス代約 2,300 円、水道代約 1,000 円の節約**にもつながります。



○炊事編

毎日行う食器洗い。汚れた食器をすぐ洗い流してはいませんか？ **洗う前に水につけておく**、または、いらなくなった布等で**汚れをふき取ってから洗う**と、使う水の量を節約することができます。

○洗濯編

洗濯物はまとめて洗いましょう。少量の洗濯物を毎日洗うよりも、洗濯機の容量に合わせて、洗濯回数を少なくした方が節水・省エネにつながります。たとえば、洗濯機の容量の4割を入れて洗う場合と、8割を入れて洗濯回数を半分にした場合を比較すると、後者の方が年間で**3.5 kgのCO₂削減**と、**水道代約 3,820 円、電気代約 160 円の節約**につながります。



（出典：資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」、開隆堂「省エネ行動スタート BOOK」、環境省「気温の変動が水使用量に及ぼす影響」調査）

お問い合わせ先

保土ヶ谷区 区政推進課企画調整係 電話：045-334-6227 F A X：045-333-7945

✉ ho-eco@city.yokohama.jp 〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町 2-9